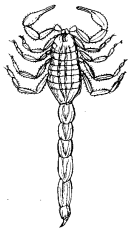


音順	生薬名	中医の性味・帰経	中医の用量
中医学生薬解説、参考・使用上の注意 および中医学以外の生薬解説・生薬学解説			
せー20	ぜんかつ 全蝎	甘・辛・平・有毒 肝	全蝎は1.5～6g、蝎尾は1～2g、煎服。散剤にはやや減量する。
中医生薬解説			
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 3;"> <p><b>熄風止瘧</b> 熱性瘧疾に、羚羊角・大青葉・黄連などを用いる。 癲癩、破傷風などの瘧疾に、地竜・白僵蚕・蜈蚣などを用いる「撮風散」「止瘧散」。 中風の顔面神経麻痺に、白僵蚕・白附子などを用いる「牽正散」。</p> <p><b>活絡止痛</b> 風湿痺の関節痛に、単味を吞服するか、烏頭・乳香・地竜などを用いる。</p> <p><b>攻毒散結</b> 瘡瘍腫毒（皮膚化膿症）、瘰癧（頸部リンパ節腫）、痰核（しこり）、疔腮（耳下腺炎）などに、単味の粉末を吞服するか、山梔子・白芷などを用いる「全蝎膏」「全蝎消風散」。</p> </div> </div>			
<p>キョクトウサソリを食塩水に入れて殺し乾燥したもの</p>			
<p><b>参考</b> 蝎尾の効能が、全蝎よりすぐれている。 全蝎は白僵蚕より止瘧の効能が強く攻毒散結にも働くが、白僵蚕のような祛風泄熱、化痰の効能を持たない。</p>			
<p><b>使用上の注意</b> 辛散有毒であるから、虚証には慎重を要する。</p>			